



高学年林間学校 IN 第1アリアンサ 1/26、27(土、日)

夏休みの締めくくりとして、第1アリアンサにて、ノロエステ地区(第1・2・3アリアンサ、ミランドポリス高岡、アラサツバ、リンス、プロミッソ)の日本語学校による高学年林間学校が行われました。10歳以上の生徒が49名参加し、日本語を使いながら、仲間との絆を深めました。



自分の夢を書きました!

第3アリアンサは低学年の生徒が多いため、1名しか参加しませんでした。日常ではできない体験に、たくさんの刺激を受けたようです。日本でも、他校生徒との宿泊学習を行う機会はありません。ここでしかできない、とても貴重な経験となりました。



初めて野球をした生徒も多く、キャッチボールに苦戦しながらも、チームで楽しんでプレーしていました!

プログラム

- ① アイスブレイク
- ② お話(アリアンサの歴史・日本の部活動)
- ③ 野球体験
- ④ 歌とダンス
- ⑤ 料理教室(お好み焼き)
- ⑥ キャンプファイヤー
- ⑦ オリエンテーリング(弓場農場)
- ⑧ 劇の発表(ことわざに関する劇)





料理教室では、みんなで協力してお好み焼きを作りました。焼く作業に時間がかかり大変でしたが、自分たちで作った料理にみんな大満足でした。

ブラジルは雨季です。雨に何度も悩まされ、外に出る度に雨に降られてしまいました。何とかキャンプファイヤーも行うことができました！！

日本語のことわざで“劇”！？



例年はグループで創作の劇や歌、ダンスの発表をしていましたが、今年から新たな取り組みとして、日本語のことわざを劇で演じることにチャレンジしました。日本人でも解釈の難しいことわざですが、生徒たちはいろいろ話あったり、調べたりしながら、少ない時間の中で劇を作り上げました。特に、年齢の高い生徒たちがリーダーシップを発揮して、話し合いや練習を進めている姿が印象的でした。

私も生徒に混ざって、「猿も木から落ちる」のことわざ劇に参加しました。



編集後記



文末になりましたが、**新年あけましておめでとうございます**。本年も、できる限り、たくさんの方に第3アリアンサでの活動や日系社会の様子を知っていただくために、アリアンサ通信「かけはし」を発行させていただきます。よろしくお願ひいたします。

さて、ブラジルは夏真っただ中のため、もちろん連日35度を超え、40度に近い日も多いです。例年はこの時期に雨が多く、少し涼しくなるということですが、今年は降雨が非常に少ないそうです。そして、農業には大打撃のようで、天気の話をする方がとても多く、心配になります。今年の富山はあまり雪が降らず、去年の大雪とは大違いのようですが、世界中の天候の目まぐるしい変化に、心配になる今日このごろです。